

特別区消防団運営員会への諮問事項に基づく

消防団員に対する アンケート結果

杉並区消防団運営委員会

杉並消防団事務局

消防団員に対するアンケート結果

※（ ）内は現数に対する回答率

○アンケート対象者数： 6 3 3 名(現数)

杉並消防団 3 4 0 名、荻窪消防団 2 9 3 名

○回答者数： 3 3 5 名（5 3 %）

杉並消防団 1 9 1 名（5 6 %）、荻窪消防団 1 4 4 名（4 9 %）

回答者の内訳は以下のとおり

1 性別

	回答者数（回答率）
男性	2 5 0 名（5 1 %）
女性	8 5 名（5 7 %）

2 年代・勤務年数別

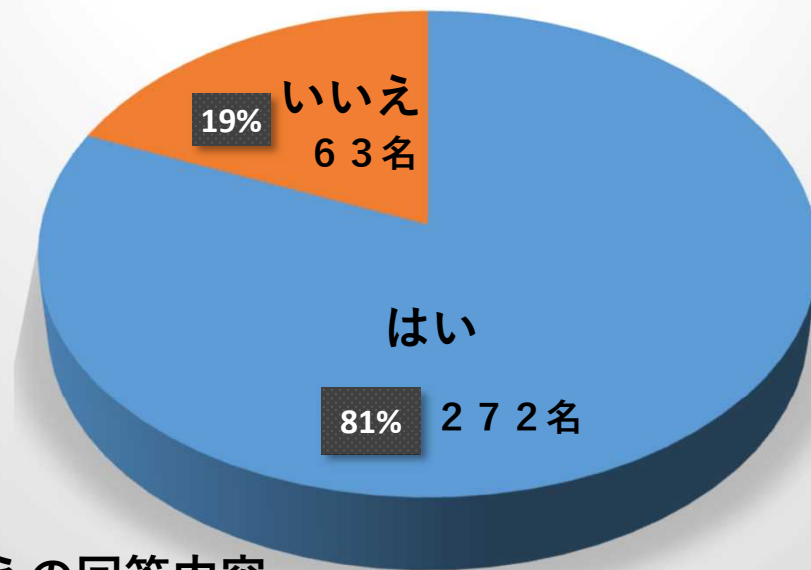
【年代】	回答者数（回答率）	【入団年数】	回答者数（回答率）
1 0 代	6 名（4 6 %）	5 年未満	9 9 名（4 6 %）
2 0 代	2 8 名（4 5 %）	5 ～ 1 0 年	4 8 名（5 0 %）
3 0 代	2 2 名（4 4 %）	1 0 ～ 2 0 年	8 4 名（5 4 %）
4 0 代	5 1 名（4 0 %）	2 0 ～ 3 0 年	5 0 名（5 5 %）
5 0 代	1 0 8 名（5 8 %）	3 0 年以上	4 7 名（5 2 %）
6 0 代	9 7 名（6 2 %）	未記載	7 名（1 %）
7 0 代	2 3 名（6 8 %）		

3 階級別

【杉並】		【荻窪】	
階級（現数）	回答者数（回答率）	階級（現数）	回答者数（回答率）
副団長以上（7 名）	7 名（1 0 0 %）	副団長以上（6 名）	6 名（1 0 0 %）
分団長（9 名）	9 名（1 0 0 %）	分団長（8 名）	6 名（7 5 %）
副分団長（3 0 名）	2 3 名（7 6 %）	副分団長（3 0 名）	2 5 名（8 3 %）
部 長（6 2 名）	3 9 名（6 3 %）	部 長（5 3 名）	2 5 名（4 7 %）
班 長（7 0 名）	4 8 名（6 9 %）	班 長（4 8 名）	2 7 名（5 6 %）
団 員（1 6 2 名）	6 5 名（4 0 %）	団 員（1 4 8 名）	5 5 名（3 7 %）

1 首都直下地震について

首都直下地震に対して切迫感はありますか？

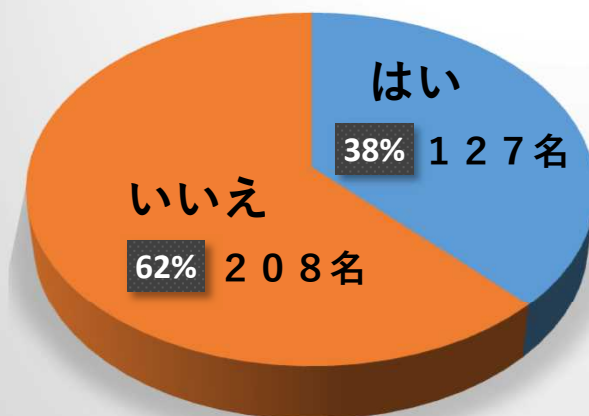


■ いいえの回答内容

- ①首都圏で震度5弱以上の地震はあまり発生していないから 12名
- ②関東大震災から100年以上過ぎても発災していないから 9名
- ③何となく切迫感を感じない 35名
- ④その他・・・対策はしているので心の準備ができている。
地震の予知はできないから等 7名

地震発生時消防団員として活動する

自信はありますか？



■ はいの回答内容

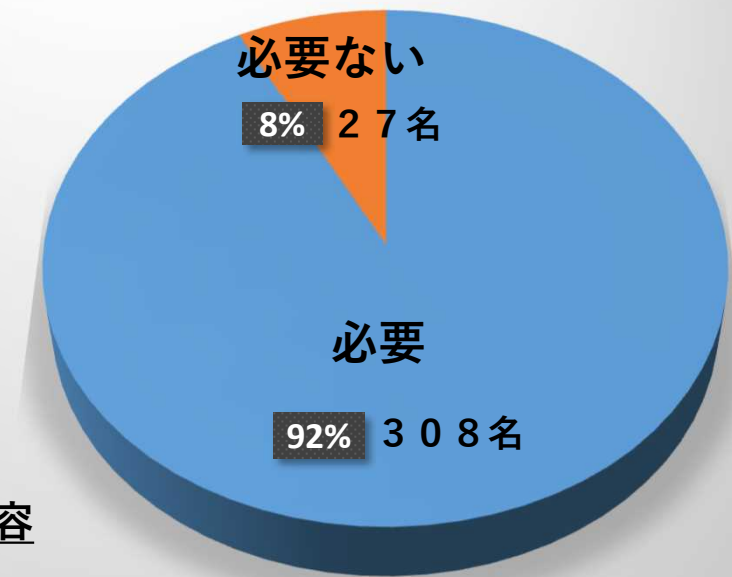
- ①訓練してきたから 38名
- ②とるべき行動がわかる 45名
- ③地域住民との団結力 36名
- ④その他 8名
団員としての責任感から等

■ いいえの回答内容

- ①活動に自信がない 49名
- ②訓練が不十分である 87名
- ③参集できる団員が少ない 59名
- ④その他 13名
家族が気になる、地震の被害イメージが想像できないなど

2 首都直下地震に備えた活動能力の向上方策について

首都直下地震に備えた特段の訓練の必要性



必要ないの回答内容

- ①現行の訓練で対応できるから 11名
- ②震災に備えた特段の訓練がわからない 12名
- ③その他 参集できるかわからない等 4名

首都直下地震に備えた特段の訓練の必要性

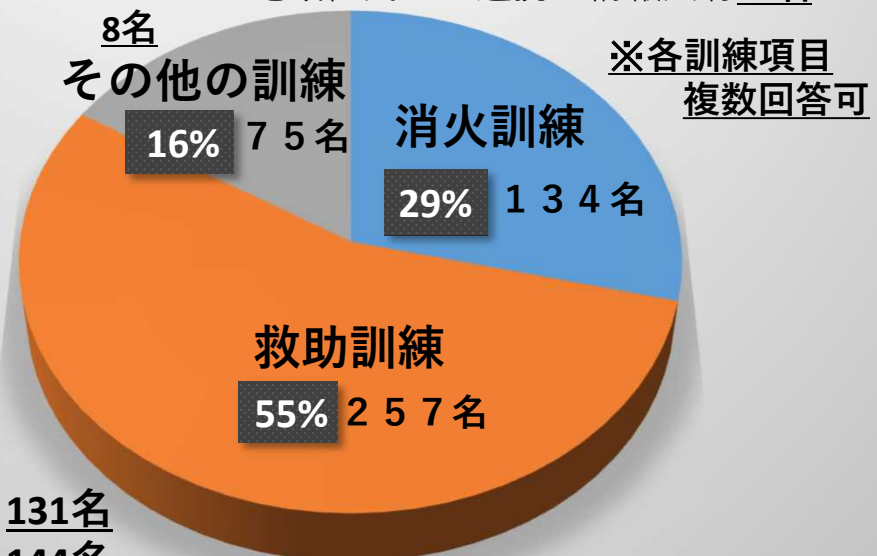
その他の訓練

- ①応急救護訓練 33名
- ②住民の避難誘導 48名
- ③町会との連携訓練 44名
- ④その他

無線訓練、発災時の初動対応訓練 地域住民との連携や情報共有 7名

消火訓練

- ①可搬ポンプ中継の長距離放水訓練 62名
- ②基本的なホース延長及び放水 73名
- ③スタンドパイプからの放水訓練 57名
- ④その他



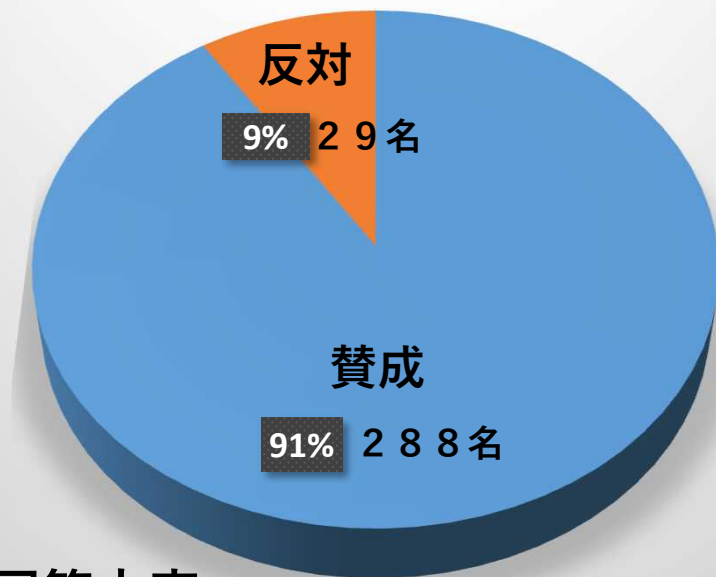
※各訓練項目
複数回答可

救助訓練

- ①倒壊建物からの救出 131名
- ②傷者の救護及び搬送 144名
- ③消防隊と連携した救助 150名

3 行事・訓練等の改善について

合同点検を実戦的訓練に変更することに賛成か

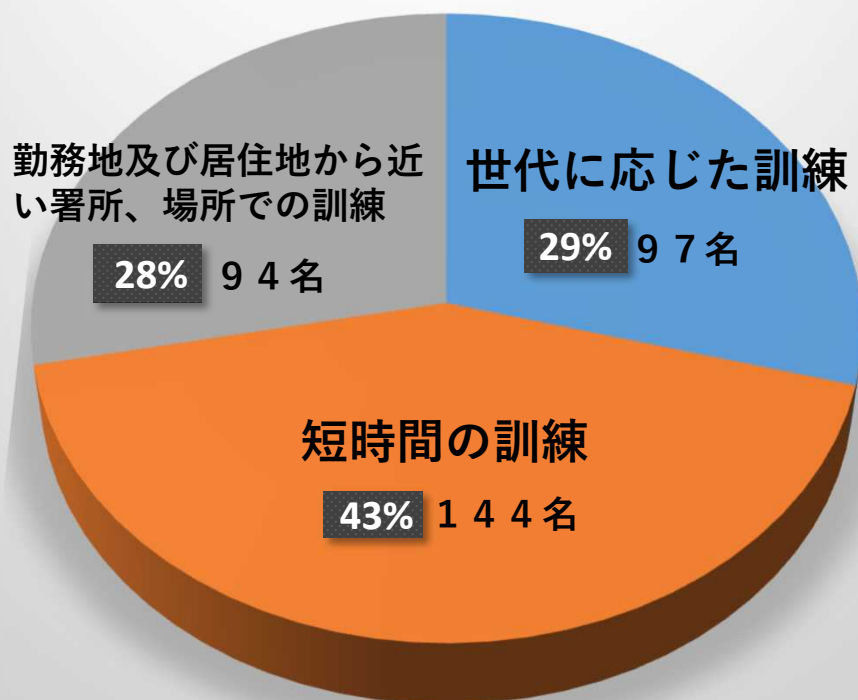


※未回答者
18名を除く

■ 反対の回答内容

- ①部隊検閲・礼式が重要だから **11名**
- ②変更するとさらに負担が増えるから **18名**

参加しやすい訓練とはどのような訓練か

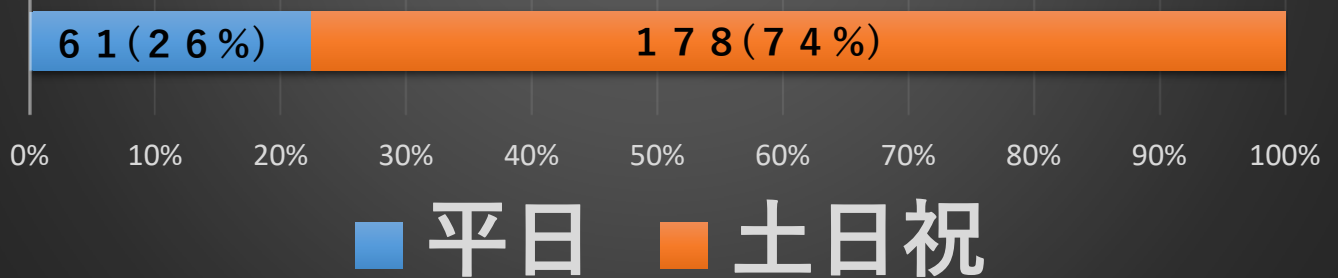


※その他意見

- ・無駄時間がない訓練、やりがいのある訓練
- ・様々な曜日、時間等多様な設定

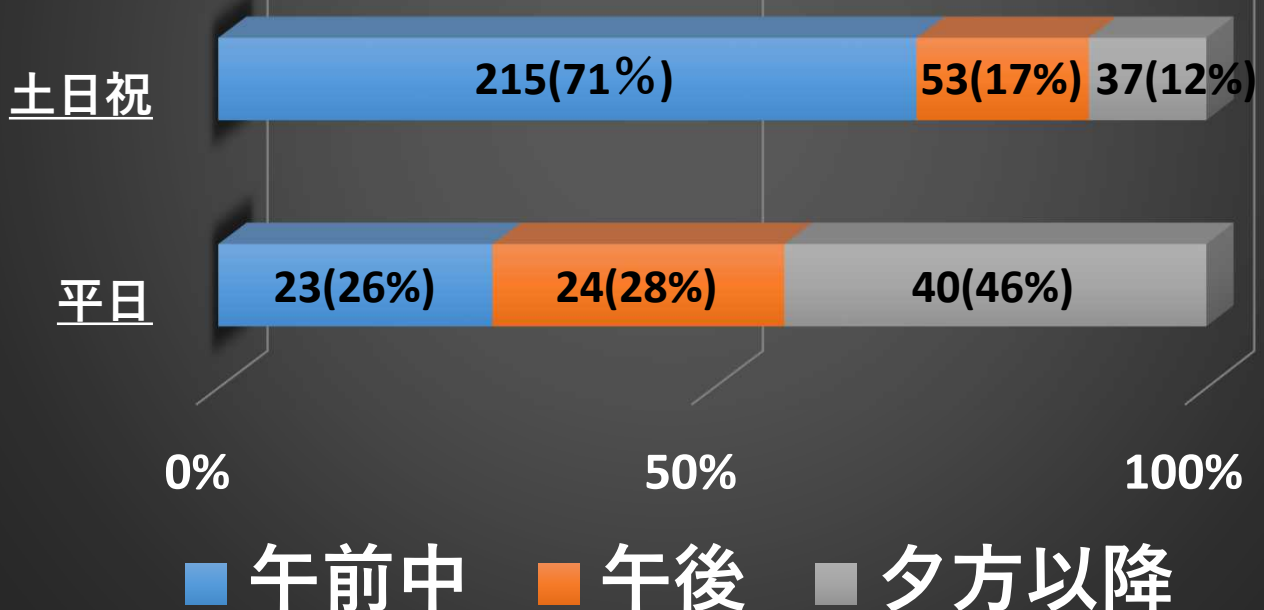
訓練に参加しやすい曜日

※希望日→水曜日と土曜日等の複数回答及び
曜日希望のない回答者は除く



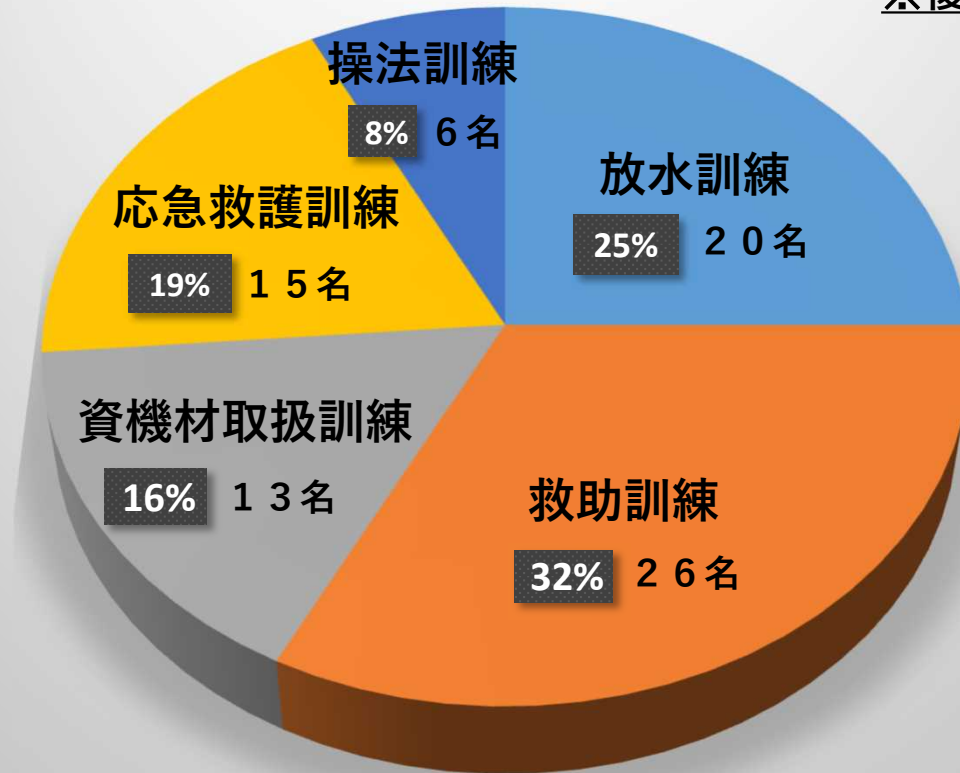
訓練に参加しやすい時間帯

※複数回答可



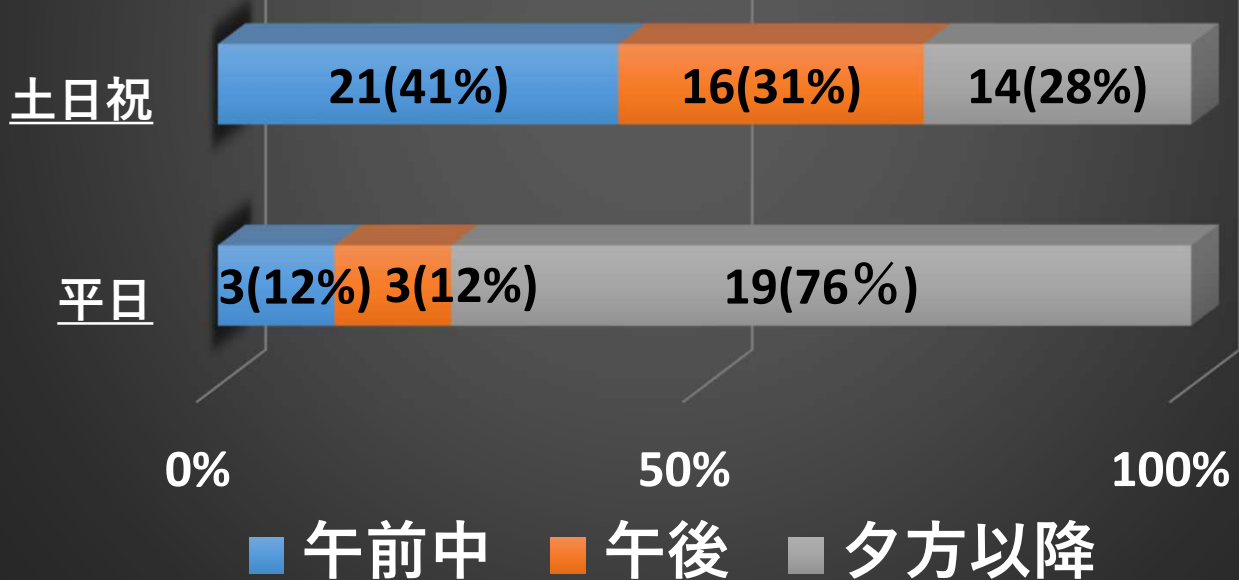
新人団員の希望訓練 (入団5年未満) 58名

※複数回答可



訓練に参加しやすい時間帯

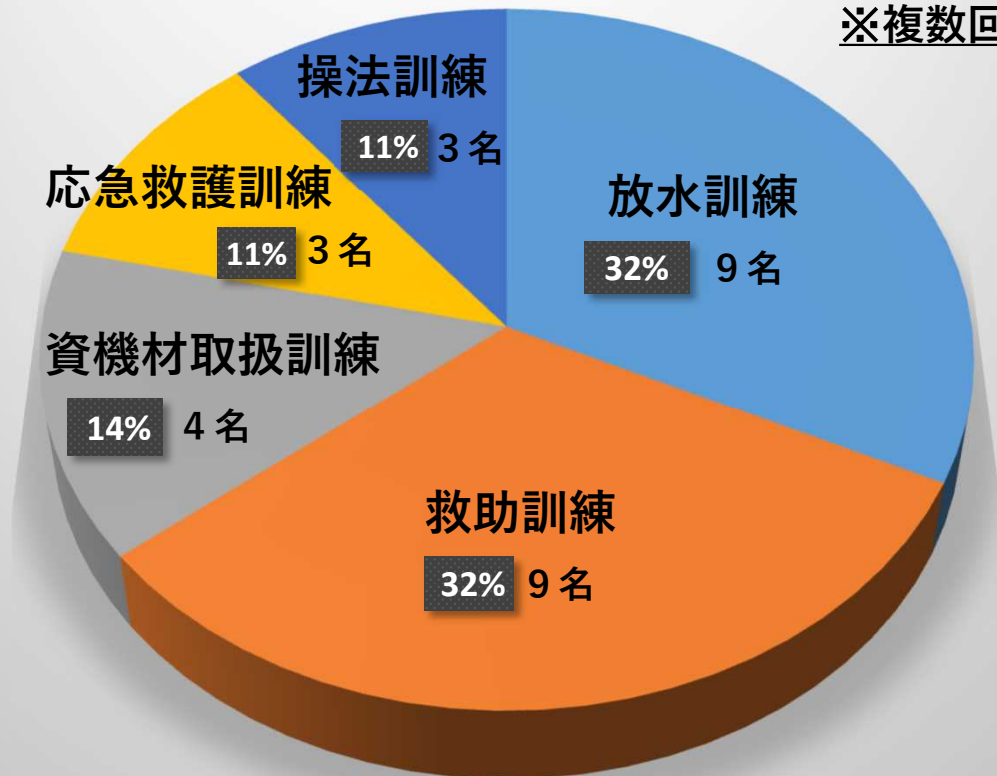
※複数回答可



新人団員の希望訓練

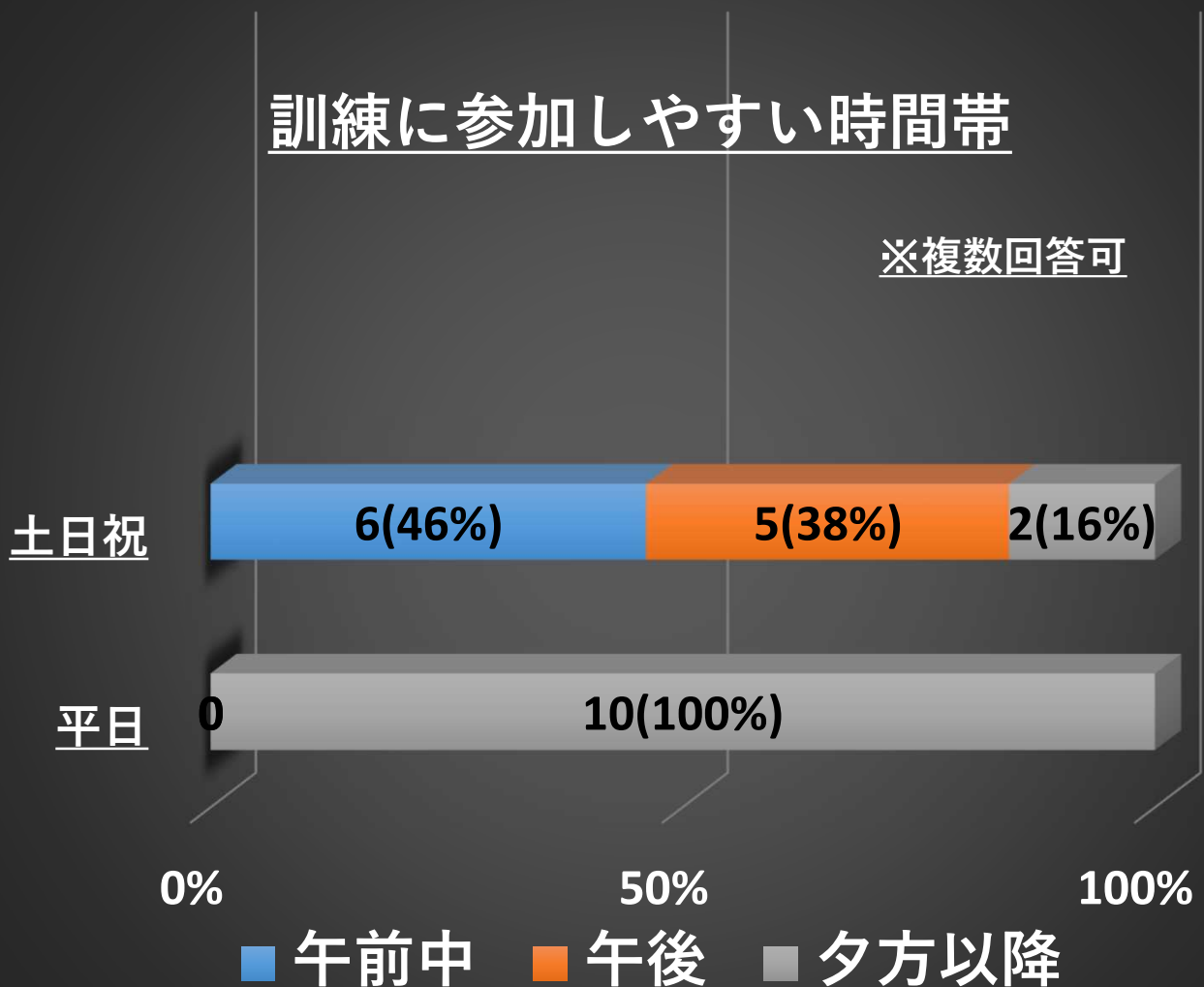
(入団5年未満、39歳以下) 22名

※複数回答可



訓練に参加しやすい時間帯

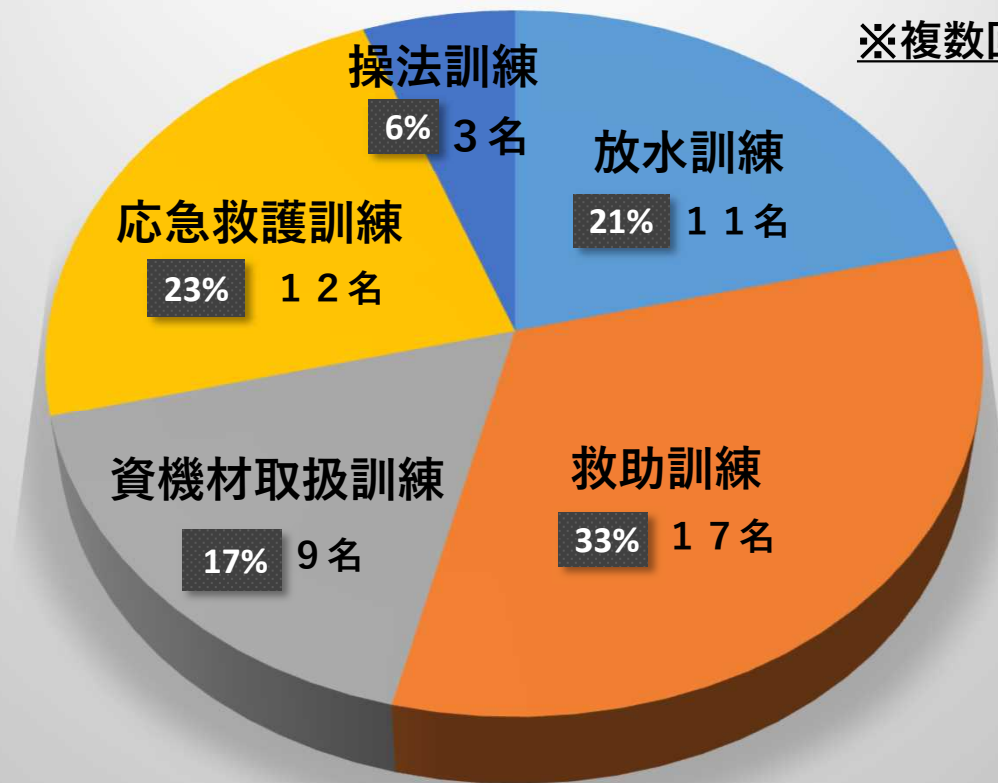
※複数回答可



新人団員の希望訓練

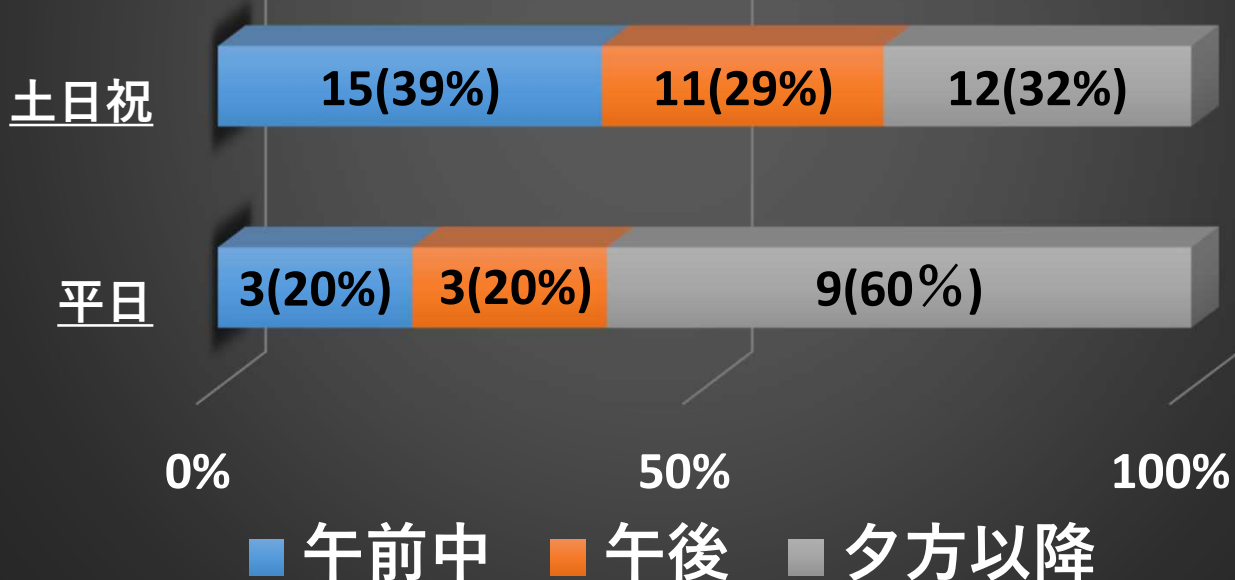
(入団5年未満、40歳以上) 36名

※複数回答可



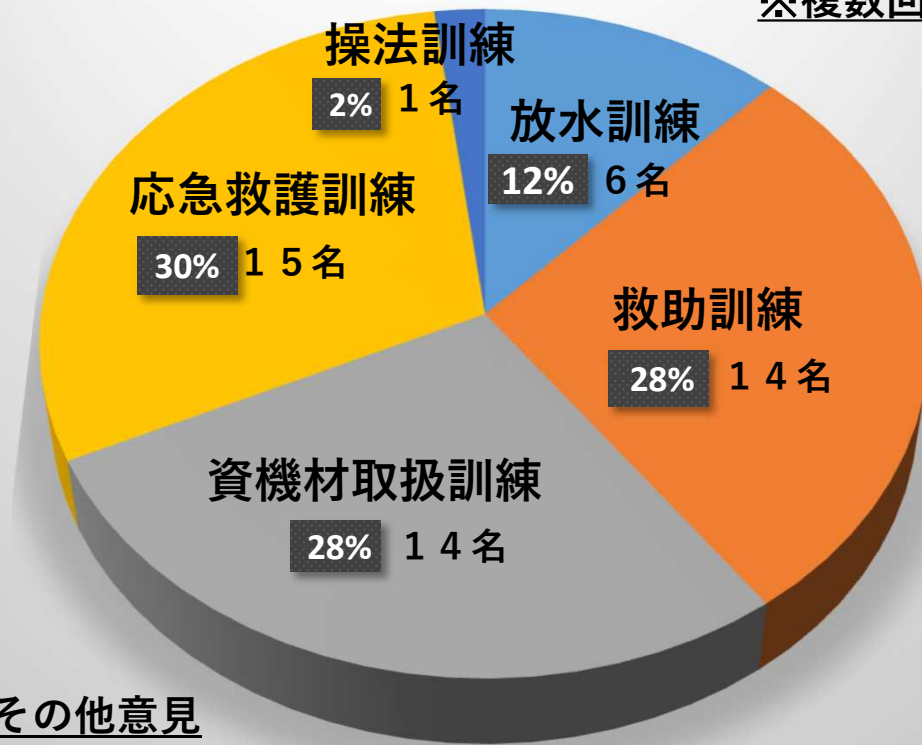
訓練に参加しやすい時間帯

※複数回答可



女性団員(入団5年以上)の希望訓練 41名

※複数回答可

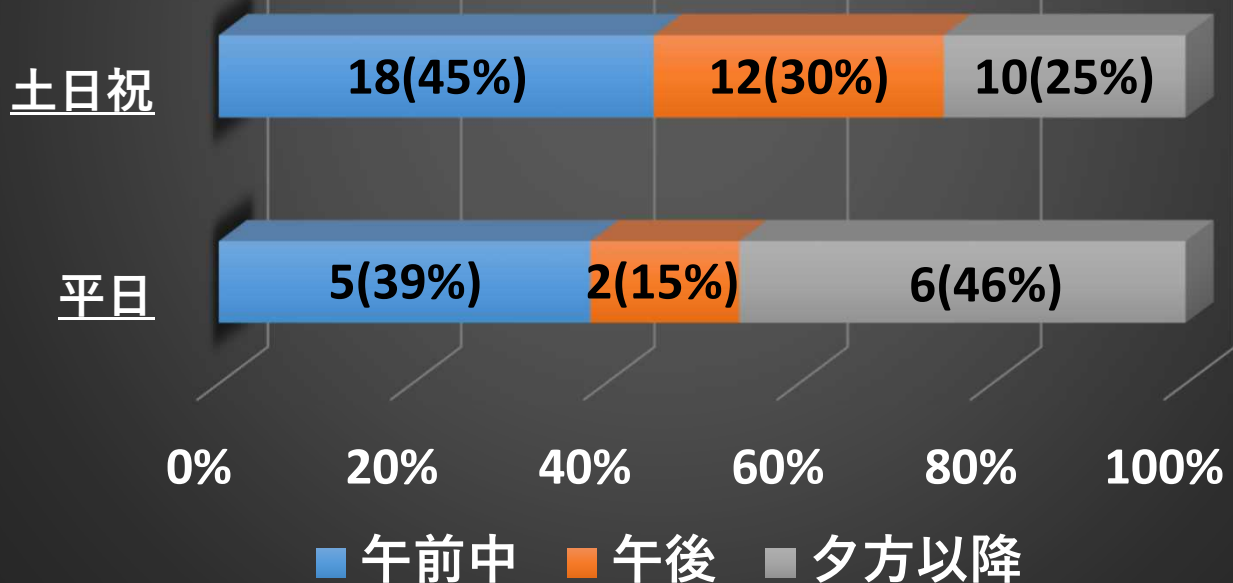


※その他意見

・インフラ停止中の対応訓練

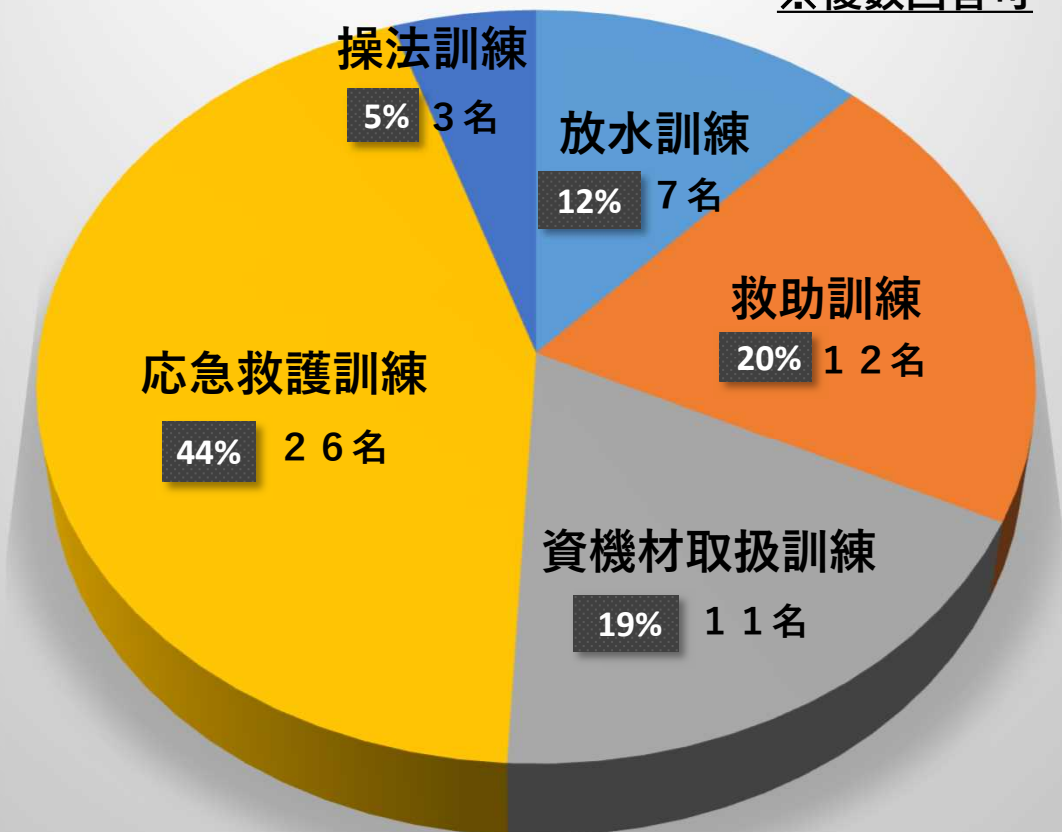
訓練に参加しやすい時間帯

※複数回答可



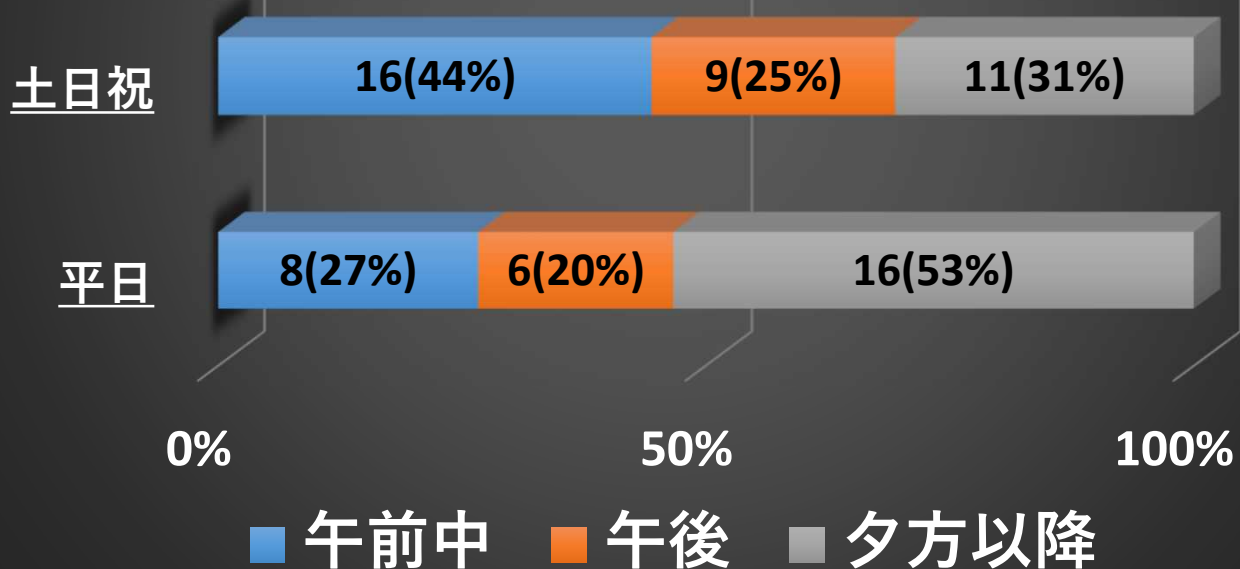
女性団員(入団5年未満)の希望訓練 40名

※複数回答可



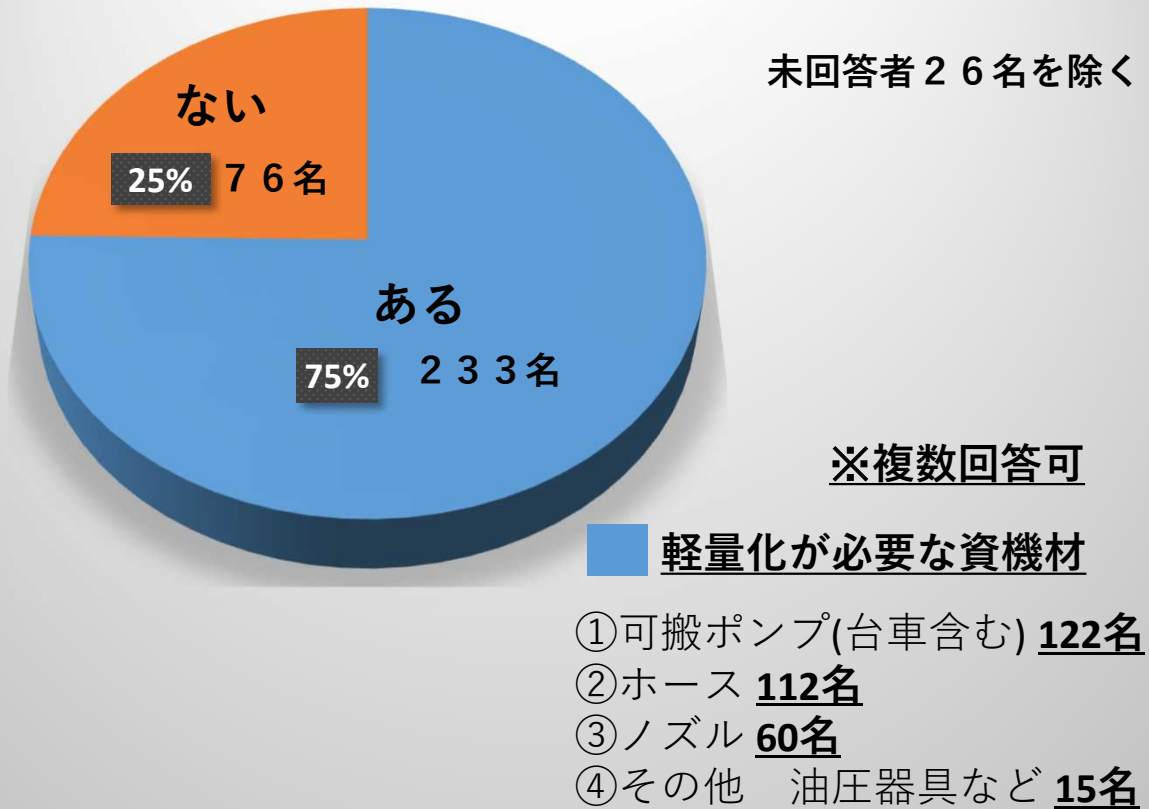
訓練に参加しやすい時間帯

※複数回答可

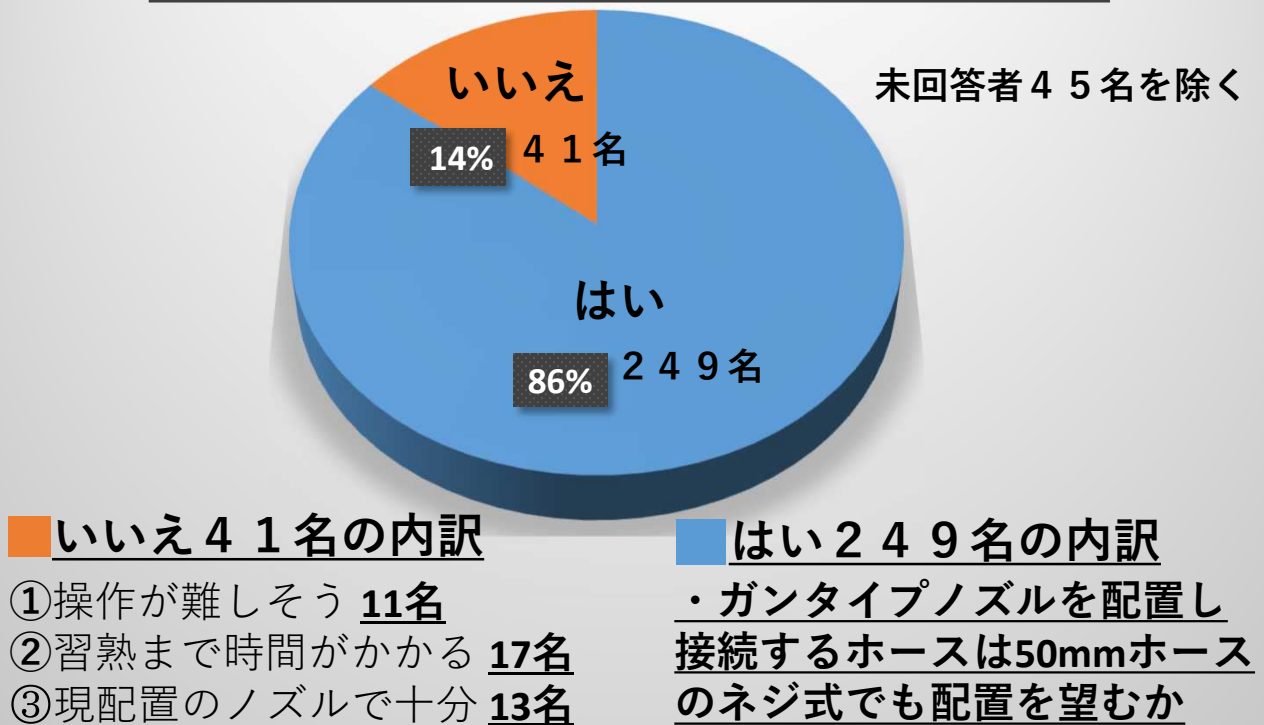


4 消防団効率化による負担軽減について

軽量化が必要だと考える資器材はあるか



消防隊が使用している反動力が大幅に軽減されるガンタイプノズルの配置を希望するか



↓

はい → 189名(76%)
いいえ → 60名(24%)

消防団使用の 6 5 mm 管そう



水がのったホース 1 本の重量は
6 5 mm ホース 約 6 5 . 0 k g (空の状態では約 8 k g)



諸元性能

項 目	数 値 等
ノ ズ ル 口 径	2 1 mm
放 水 量	毎分約 5 0 0 ℓ
飛 距 離	約 3 0 m

消防隊使用のガンタイプノズル



諸元性能

項目	数値等			
流量切替ダイヤル値	1 2 5	2 4 0	3 4 5	4 5 0
流量 (L/min) 実測値	1 4 0	2 6 0	3 7 0	4 6 0
有効射程 (m) 実測値	1 4	1 5	1 8	1 8
放水反動力 (N) 計算値	7 3	1 3 5	1 9 2	2 3 9